

# えりもしやくなげ



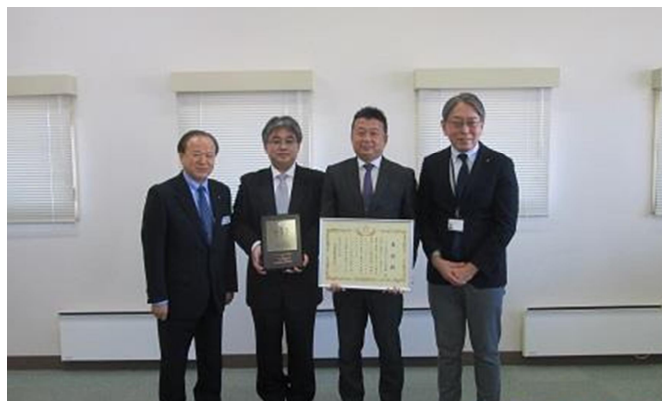
発行者 教育長 川上松美 (代)01466-2-2525

<http://www.town.erimo.lg.jp/section/>

kyouiku/sg6h94000000pqh.html

## えりも小が 北海道教育実践表彰 その主な功績は何か

- 幼小接続にかかわる取組
- 基礎学力向上に成果
- 学習規律と学びに向う態度定着



### ○全道の小中高、特別支援学校で8校が表彰

- ・小学校では、倶知安小、伊達市東小、北見市三輪小、釧路市鳥取小が受賞しました。
- ・その他、千歳市勇舞中、ニセコ高校、厚岸翔洋高校、函館盲学校、函館聾学校が受賞。



### ○自ら学びに向う態度が身に付きました

- ・問いに対して、タブレットに自らの考えをまとめたり、教科書の内容を黙読して考えたりする姿が育っています。



### ○協働的な学びの態度が身に付いています

- ・より質の高い考えになるよう、隣の人と互いの考えを伝え合うなど、話し合いの態度が身に付いています。
- ・信頼関係が育まれています。



### ○整然とした態度が身に付きました

- ・集団における規律が日ごろの指導から育っています。
- ・上級生の態度が低学年の育ちに結び付いています。



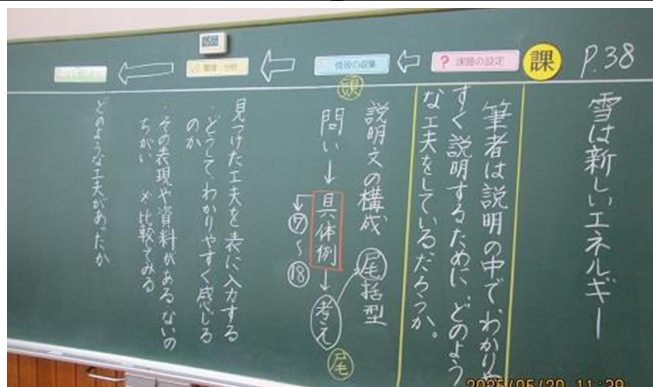
### ○他の意見を集中して聞く態度が身に付いています

- ・このような態度は、教師が継続して指導して初めて身に付いていくものです。学級全体に学ぼうとする雰囲気を作り出されます。
- ・日々の高学年の姿を見て低学年が育ちます。



○多くの友達と交流を深め、自らの考えを高めようとする態度が身に付いています

- ・自主性、積極性が育っていることの証です。
- ・何を学ぶかの目的や自分の考えを持っていることなど、主体的な学びと言えます。
- ・日々の高学年の姿を見て低学年が育ちます。



○計画的な板書計画で、学習が深まります

- ・板書が整理され、1時間の学習の流れが分かります。
- ・教師の板書の字は、丁寧できれいであることが大原則です。内容に応じて色分けされ、学びの整理が容易になっています。
- ・日々の高学年の姿を見て低学年が育ちます。



○夏休み開始の「学習サポート」です

- ・学校が一つになって、学期の振り返りをしています。基礎学力の定着に結び付いています。
- ・先生方の情熱がなければ実施できません。
- ・保護者の協力も必要です。



○ペアでの学び合いです

- ・このような学習は2人間の信頼関係がなければ成り立ちません。
- ・ここにも、普段の学級経営の取組が生きています。



○立腰と家庭学習のチャンピオン表彰です

- ・3学期、特に頑張った児童を教育長が表彰しています。全校生の前で表彰式が行われ、学校全体で学習規律や家庭学習の意欲に結び付いています。
- ・日々の高学年の姿を見て低学年が育ちます。

学び合いの前提

- ・学び合う学級が自己有用感（共感的理解・他者へのかかわり）、自己効力感（自己存在感、自己を磨く）、自己肯定感（自己決定・自己を認める）が漂うことが必要です。
- ・「学びを深め合う」ためには、基礎的な知識や技能が身に付いていることが必要です。
- ・いじめ（いやな思いを感じる）のある学級では、質の高い学び合いを行うことは難しい環境となります。
- ・基礎学力の向上には、まずは、本人のやる気と学校の継続した一人一人の状況を踏まえた学習、そして家庭の協力が必要です。
- ・えりも町では、全ての学校で「学習サポート」を実施しています。